

指導者のための リスクマネージメント



一般社団法人

日本海洋アカデミー

HIRŌ's ヒーローズスポーツサポート
SPORT SUPPORT

廣瀬 秀一 Hideichi Hirose

はじめに、



廣瀬 秀一 Hideichi Hirose

ヒーローズスポーツサポート代表

アスレチックトレーナー業務

イベント運営

リスクマネジメントアドバイザー

鍼マッサージ治療院

ヨガ/ピラティススタジオ運営

JSAF医事科学委員会メンバー

冬季長野オリンピック日本選手団トレーナー

日本体育協会公認アスレチックトレーナー

MEDIC FirstAid BasicPlus(救急法/AED)

WILDERNESS MEDICAL ASSOCIATES WFA(野外救急救命)

1級小型船舶操縦士免許

潜水士免許

日本スノーケリング協会認定インストラクター

鍼灸免許 あん摩マッサージ指圧師免許



一般社団法人

日本海洋アカデミー

リスクマネージメントとは

リスクマネージメントとは

リスクの存在、大きさなどを事前に把握し、合理的な方法とコストで適切な対処策を講じておくことにより、リスクによるダメージを小さくすること。



安全管理の考え方

- 想定できるだけの危険を予知し、そのための対策を徹底的に講じること。
- 万が一の時間を想定して対策を講じるとともに、スタッフに対する教育を徹底して行うこと。
- 参加者、スタッフには自分の身の安全は自分で守ることを徹底させること。

※**セルフレスキューファースト**＝アウトドア活動の基本

- 参加者が未成年者である場合、保護者に活動の主旨、内容といったものをきちんと伝えたくうえで参加してもらうこと。

※万が一の時に保護者の責任も問われます。

危険因子の分類

私たちが行う活動の多くは、非日常的な自然環境の中で行われるものです。

従って日常的に予想される危険とはかなり異なります。指導者はまずこの点をきちんと認識しなければならないでしょう。

自然環境の危険

生物的な危険

社会性、文化性、人為的な危険

自然環境の危険

- ① 気象によるもの（大雨、吹雪、強風、台風、落雷など）
- ② 地震によるもの（山崩れ、津波、火災など）
- ③ 人体に影響を及ぼす危険な動植物
（毒蛇、ハチ、ケムシ、ウルシなど）
（クラゲ、ウツボ、ヒョウモンダコ、ガンガゼなど）
- ④ その他（洪水、雪崩、火災など）

生物的な危険

① 病気

(伝染性病原体、寄生性病原による疾病。食中毒、その他の疾病)

② 怪我

(すべる、転ぶ、ぶつかる、落ちる等による怪我)

③ 水辺特有

(自然環境の特徴、危険な場所、ささいな不注意、無謀な行動、危険な悪ふざけ)

社会性、文化性、人為的な危険

① 人間関係によるもの

（人間関係のこじれ等による精神、身体的な危険。）

② 文明の利器によるもの

（刃物や火、あるいは道具の扱い方の失敗による怪我。
交通事故。）

③ 主催側、指導側の過失による危険

（無理な計画、未熟な指導者による事故等。）

安全管理には

想定できるかぎりのあらゆる危険を予測することが最初の取組みです。そしてそれらの危険をいかに回避するか対策を立てることが重要です。

危険予知能力と危険回避行動こそが安全管理の全てであると言っても過言ではありません。

しかし、これらの能力は決して書物を読んだから身に付くというものではありません。

実践という経験を積むことが大変重要です。

安全管理の実際

計画段階でのポイント

この計画の段階こそが事業の成否だけでなく安否についてもカギを握っていると言っても過言ではありません。

- ① テーマの設定
- ② 対象者の設定
- ③ 活動プログラムの決定
- ④ 組織の決定
- ⑤ 指導者の決定及び、指導者資格基準
- ⑥ 場所・施設の決定
- ⑦ 用具・持ち物の決定
- ⑧ 輸送手段の決定

以上のようなポイントに十分配慮した上で計画を立てることが必要です。とにかく安全上無理がないかどうかを念頭にいった計画づくりが重要です。

実地踏査

様々な視点で危険と思われる場所をチェックする必要があります。特にその地域特有の自然環境における危険には要注意です。実地踏査は必ず実施しなければなりません。その際忘れてはならないことは、常に参加者層を念頭にリスクチェックをすることです。

- ① 時期（一ヶ月前位に最低一回）
- ② 実地踏査を行うメンバー（理想的には指導者全員、無理な時は写真を利用）
- ③ 対策

（参加者、スタッフへの事前説明、医療機関、消防署、警察署等の連絡先、場所を確認）

広報と契約

事業を実施する際、幅広く不特定多数の人々に知ってもらうために、広報の役割があります。しかしその伝え方によっては、大きな誤解をしたまま事業に参加し、取り返しのつかないようなことが起こってしまうことがあります。そこで、そうした誤解を少なくするための広報や契約のあり方のポイントをいくつか紹介しましょう。

① 広報の文書と契約文書

(広報の情報だけでなく、詳細情報記載の契約文書を用意する。)

② 契約文書に記載すべきポイント

(事業主体、事業所の所在地、事業概要、日程、料金等)

③ 参加申込

(契約書、健康調査書、免責同意書等)

事前説明の実施

特に参加者が未成年である場合には必ず保護者に対して直接対面して行うことが重要です。また、その際、主催者や指導者全員との面識を持つことも重要であり、できるだけ触れ合っておくことが大切です。

- ① 主旨内容の説明（特に指導法）
- ② 持ち物についての説明
- ③ 指導体制
- ④ 指導責任と保険
- ⑤ 参加者の把握（参加申込書と健康調査票）

実施中の安全管理

実施中は主に、

F (Field フィールド)

P (Participant 参加者)

S (Staff スタッフ)

の三つの点に注意します。

F (Field フィールド)

プログラムを実施する場所のチェックです。
最初に把握すべきポイントです。

① 気象状況の把握

(現在の状況、今後の予報、過去一週間ぐらいの状況等)

② 危険個所の再確認

(実地踏査の再確認、状況に変化がないか確認)

③ フィールドへ移動するまでの安全管理

(気が緩みがちな帰途に注意)

P (Participant 参加者)

指導者として一番気をつかうポイントです。

参加者を安全に管理し、事業を終了することこそが指導者の最大の仕事です。

- ① 人数の確認
- ② 参加者の健康管理
- ③ 弱者の把握
- ④ 心の安全
- ⑤ 危険箇所、ルールの周知



危険箇所、ルールの周知



S (Staff スタッフ)

どんなプログラムであっても原則的には一人で指導することは避けるべきです。参加者が少ない場合でも必ず指導者は二人以上で行動すべきです。

- ① スタッフの配置とコミュニケーション
- ② 指導者自身の安全管理と健康管理
- ③ 万が一の時間を想定



Field Participant Staff

実施中の三大要素である F、P、S について述べてきましたが、事故が起こる時というのはいくつかの要素が重なることが多いものです。したがって、如何に二重三重の失敗を防ぐかが安全管理の最大のポイントであるといっても過言ではありません。このことを肝に命じて活動をしてほしいと思います。



万が一の対応

事故・ケガにであった時の対処法

どんなに注意しても、やはり事故が起きることはあります。その場合、初動が被害者を救済できるか否かを左右します。救助者が最も気をつけなければならないことは、以下の三つのポイントです。

① 冷静になる

(適正な判断ができなくなると、被害を拡大する可能性あり。)

② 自分自身の安全管理をする

(体力がある人は忘れがちだが、二次災害防止のため重要。)

③ 被害者以外の人たちの安全管理をする。

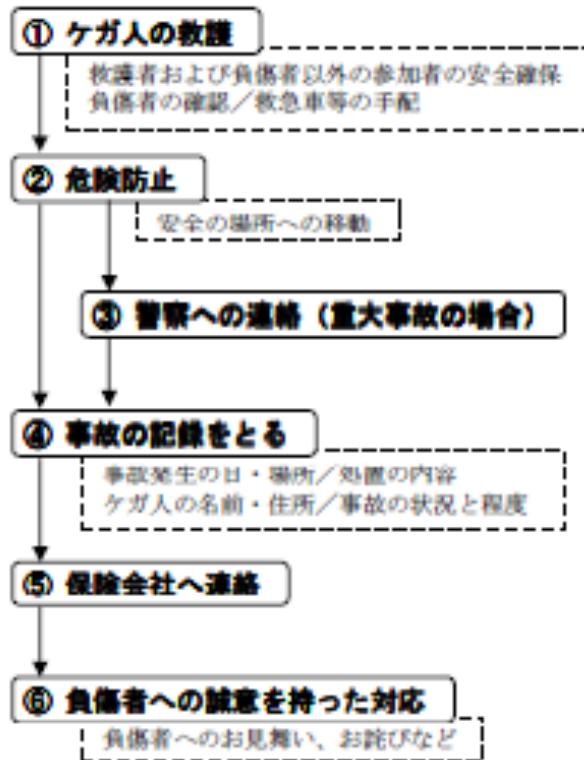
緊急連絡網

万が一の時のために、緊急連絡一覧を作成しておくことが大切です。活動の場所や内容等にもよりますが、事前に調べてリスト化しておきたい連絡先は次のようなものです。

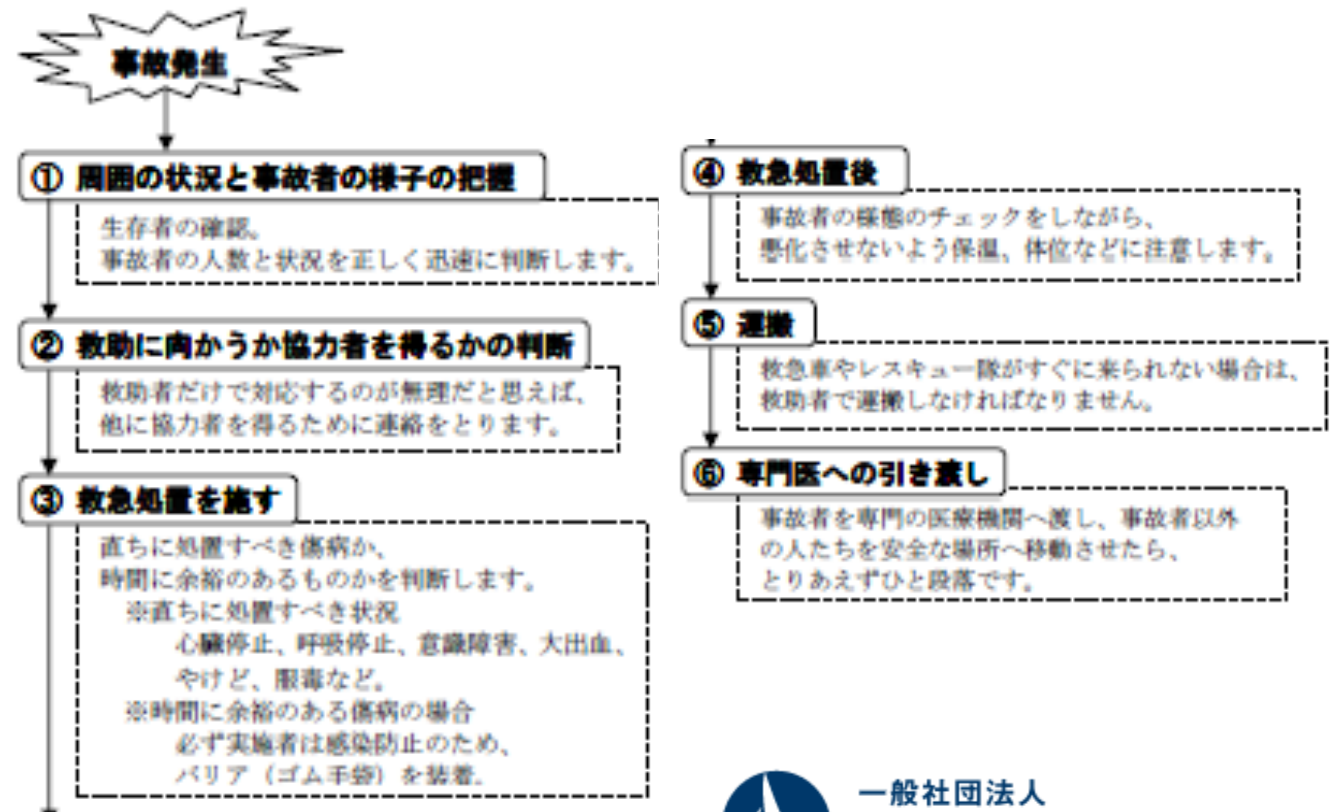
- ◆ 消防・救急 119 番
- ◆ 警察 110 番
- ◆ 海上保安庁118 番（海上における事件、事故の緊急通報用電話）
- ◆ 災害用伝言ダイヤル171 番
（地震、噴火などの被災地への電話がつながりにくい場合に利用できる）
- ◆ 本部〇〇-〇〇〇〇
- ◆ 保護者、受託事業の場合クライアント〇〇-〇〇〇〇
- ◆ 保険会社〇〇-〇〇〇〇
- ◆ 最寄りの医療機関（複数箇所） 〇〇-〇〇〇〇

現場での基本対応

事故が起こった時の基本的対応



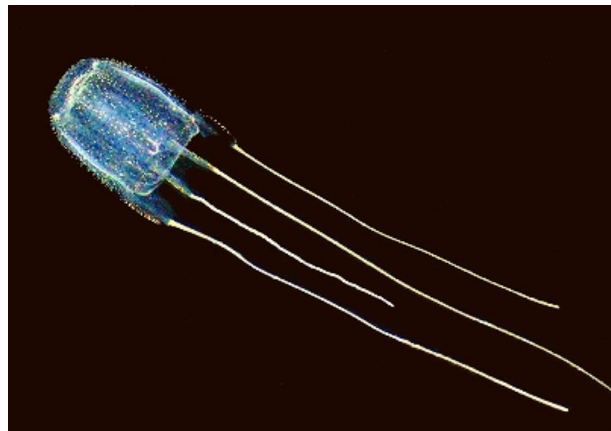
救命処置チャート



日本近海のクラゲ



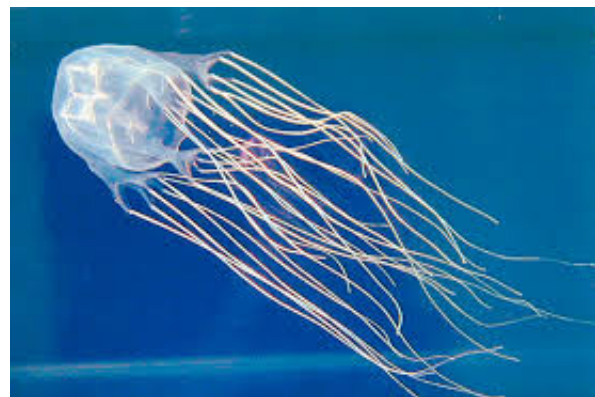
ミズクラゲ



アンドンクラゲ



アカクラゲ



ハブクラゲ
カツオノエボシ (ヒドロ虫の仲間)



一般社団法人
日本海洋アカデミー

刺された時の対処方法は？

クラゲに刺されてしまったときに一番気をつけなくてはならないことは「アナフィラキシーショック」です。
主には呼吸困難を引き起こして最悪死に至るという恐ろしいアレルギー反応です。
過去に刺されたことがあるひとは注意が必要です。

1. すぐに海からあがる。
2. 触手が残っていればタオルやティッシュ、ピンセットで落とす。
(素手で触ってはだめです！指をまた刺されますよ)
3. 海水で患部を洗い流す。(真水は体内に毒がまわりますのでNGです)
4. できれば40℃くらいのお湯で温めるとクラゲ毒が抑えられます。
5. 呼吸困難を起こしていたら救急車を呼ぶ。
6. 痛みが強いようなら病院へ行きましょう。

※よくクラゲに刺されたらお酢をかけるといいといわれますが、これは刺されたクラゲの種類によっては逆効果になるといわれていますのでやめておいたほうが無難です。

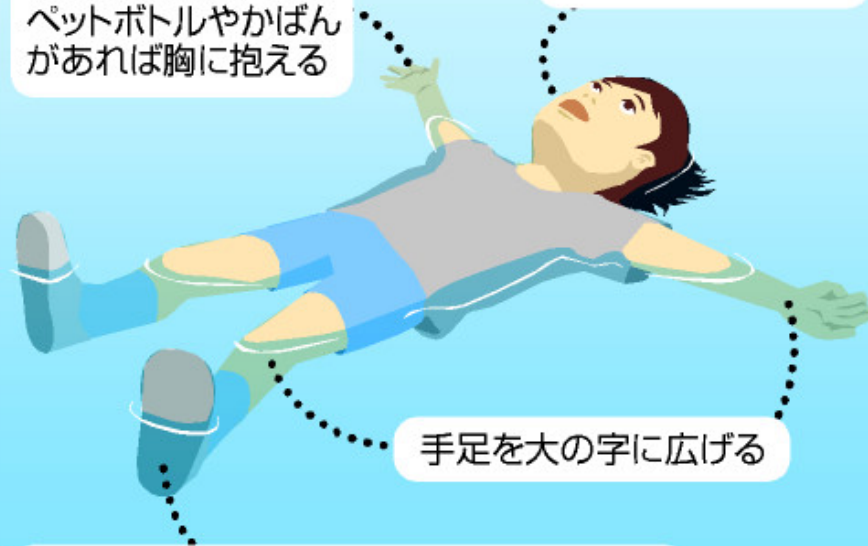
合い言葉は” UITEMATE”

合い言葉は

“UITEMATE”

手は水面より下に。
ペットボトルやかばん
があれば胸に抱える

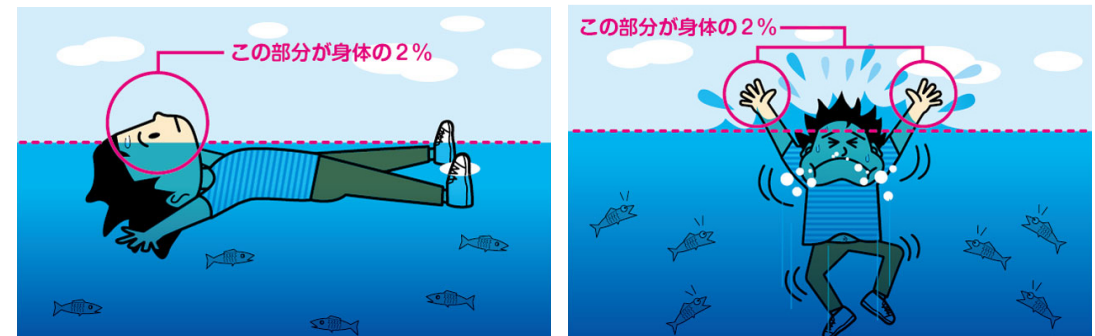
大きく息を吸い、空
気を肺にためる。
あごを上げて上を
見ると呼吸しやすい



手足を大の字に広げる

靴ははいたまま。軽い靴は浮き具代わりに

- ・手足を大の字に広げる。
- ・靴ははいたまま。軽い靴は浮き具代わりに。
- ・大きく息を吸い、空気を肺にためる。あごを上げて上を見ると呼吸しやすい。
- ・手は水面より下に。
- ・ペットボトルやかばんがあれば胸に抱える。



一般社団法人

日本海洋アカデミー

AED 自動体外式除細動器



事前に確認しておく。

どこにあるのか？
いつでも使用可能か？
バッテリーは正常か？
パッドの種類は？

よくあるQ&A

水から引き揚げた溺水者には使用可能か？
ペースメーカーが埋め込まれている場合は？



一般社団法人

日本海洋アカデミー

ご清聴ありがとうございました。



一般社団法人

日本海洋アカデミー